



2025年1月16日

各 位

RWA第1弾 GPUトークン (AID、仮称) の発行設計・上場支援に関するお知らせ

～「Wowbit (WWB)」のエコシステムへの実装手続を開始～

当社子会社であるGFA Capital 株式会社（以下、「GFA Capital社」といいます。）は、暗号資産関連事業として、ミームコインを中心とした暗号資産の取引所への上場支援事業を開始することを決定しており、第2弾の支援先として「Wowbit (WWB)」を選定しております。

そのなかで、現実資産 (Real World Asset:RWA) への本格参入の第1弾として、GPUトークン (AID、仮称) の発行設計・上場支援を遂行し、先行して上場支援を行っている「Wowbit (WWB)」のエコシステムへの実装に向けた手続を開始いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

1. GPUトークン (AID、仮称) について

近年、生成AI技術の普及により、高性能なGPUへの需要が急速に高まっています。その市場へ向け、当社においてもデータセンター事業への参入を発表し、NVIDIA (エヌビディア)社のGPUの迅速且つ円滑な仕入ができるよう、米国法人Super Micro Computer Inc. (スーパーマイクロ)と基本合意契約を結んでおりますが、昨今、これらGPU需要が高まる市場において、ブロックチェーン技術とトークンインセンティブを活用し、トークンオーナーがGPUのバーチャルオーナーとなることで、より多くのユーザーの高度な計算リソース利用を可能とするプロジェクトが立ち上がっております。

このプロジェクトに利用されるGPUトークンは、GPUという実物資産を背景としているRWAトークンであり、暗号資産事業とデータセンター事業を両側面から手掛ける当社及びGFA Capital社としては、RWA市場参入の第1弾として最適なケースであると判断し、GPUトークン (AID、仮称) の発行・上場支援を決定いたしました。

※当社及びGFA Capital社がトークン発行を行うことはなく、発行手続に関与することは一切ありません

※当社及びGFA Capital社はトークン生成において必要となるエコシステム設計・発行支援を行うコンサルティング事業に注力いたします

GPUトークン (AID、仮称) については、GFA Capital社が上場支援を決定している「Wowbit (WWB)」の同トークンエコシステム上で稼働させることとし、実装に向けた実務手続を開始しました。

「Wowbit (WWB)」選定の理由としては、同ホルダーが5万人を超えたアドレスを有していること、また上場にあたり、同トークンエコシステムを再整備する必要があったことから、両社合意の上で一般の選定に至っております。

<GPUトークン (AID、仮称) の基礎的な役割>

- ・膨大な演算処理を求められるAIデータセンターのバーチャルオーナーシップトークン
- ・GPUトークンの目指す世界は、ブロックチェーン技術を生かした、透明性の高いグローバルなGPUのシェアリングビジネスの実現
- ・GPUトークンは、AIデータセンターにおけるGPUのバーチャルレンディングにおける決済として利用可能

- GPUトークンオーナーは、AIデータセンターのエンド（最終顧客）に向けて、GPUのバーチャルレンディングを行うことができ、顧客は当社を介してGPUのバーチャルレンディングサービスを受けることができる
- GPUトークンをステーキングすることにより、トークンオーナーは、安定的なステーキング報酬を受領することができる
- GPUトークンそのものもユーティリティトークンとして上場をする予定
- GPUトークンの収益をWWBエコシステム上で還元することにより、WowooプラットフォームとGPUトークンのエコシステムを最大化する見込み

2. GPUトークン（AID、仮称）の上場支援について

当社は、2025年1月15日付開示「[釜山デジタル資産取引所（BDAN）の一部株式取得に関する基本合意締結のお知らせ](#)」にて、釜山市も出資をするデジタルトレーディングプラットフォーム、釜山デジタル資産取引所（BDAN）の株式の一部を取得することに関して、基本合意を締結しております。



釜山デジタル資産取引所（BDAN）

<https://b-dan.com/>

釜山デジタル資産取引所（BDAN）は、韓国釜山市の「釜山デジタル資産交換所設立推進計画」を元に設立された現実資産（Real World Asset:RWA）やデジタル商品取引を中心とした総合デジタル資産取引所です。

釜山デジタル資産取引所は「BDAN（Busan Digital Asset Nexus）」の通称名で、累積取引金額1.1兆韓国ウォン（約1,200億円）、118万人の会員のデジタル商品取引プラットフォーム「CenGOLD」を買収しております。この買収により、金、銀、銅などの7種の貴金属及び非鉄金属、炭素排出権等のデジタル資産の取引所としての地位を確立し、トークン証券（STO）、仮想資産を含む総合デジタル資産取引所への発展を目指しています。

今回の当社による一部株式取得に関しては、海外企業としては初めての株主ともなり、日本及びドバイ市場における窓口及びRWA事業の協業等にかかる検討を今後行っていく予定であります。

また上場先として、当該取引所も含めた国外大手取引所にリスティングオファーを行っておりますが、AIデータセンターの収益性がGPUトークンの本源価値に影響を与える可能性があるため、AIデータセンターの敷設状況、AIデータセンターのパートナーとの協議の上、進捗があり次第、適宜ご報告をしていきます。

GFA Capital社は、継続してディーリング事業を通じた投資・情報収集活動に励むと共に、GFA Capital社が上場支援していくコインの探索を続けながら、上場支援サービスの拡充を通じて、当社グループの利益に資する活動に尽力をしていきます。

なお、本件が現状において当社連結業績に与える影響などはございません。

■ 運営会社概要

会社名：GFA Capital 株式会社

所在地：東京都港区南青山二丁目2番15号ウィン青山 BIZ+

代表者：代表取締役 松田 元

事業概要：企業・ファンド等への投資及び投資先支援、投資運用に関するアドバイザー事業

以上